

令和3年 5月15日 若林区中央市民センター

# 仙白園プロジェクト

通信No. 94



「仙白園プロジェクト・人」は、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、若者を中心に、社会・地域の一員として主体的に行動できる人づくりを目指しています。

いよいよ、令和3年度がスタートしました。しかし、1年経ってもコロナは収束せず。むしろ、宮城県や仙台市の感染者が爆発的に増えたことで、まん延防止等重点措置の地域に指定されてしまいました。メンバーで集まっていた活動は自粛することにしました。そのため、4月の「畑づくり」や毎年恒例の「仙台白菜のルーツを探る旅」も中止となりました。

仙白園（畑）の管理を職員で行いました。まずは、畑の草取りです。4月になったとはいえ、まだまだ寒いので、職員は長袖での作業でした。2人で3時間程の草取り作業を行いました。抜き取った草は、大きなゴミ袋2つ分にもなりました。

また、別の日には職員3人で畑を耕しました。はじめに、畑全体に栄養のある土と堆肥をまきました。そして、電動耕運機を使って、畑全体を耕しました。最後に、酸性化した土壌を中性に近づけるように石灰をまきました。メンバーの皆さんと活動できることを心待ちにしています。今年度の活動もどうぞよろしくお願いいたします。



コロナに負けず草取り

電動耕運機で畑を耕す

仙台白菜のルーツを探る旅へ

市民センターでは、新型コロナウイルス感染防止対策を行って活動しています。